



なつた



編集・発行

成田市教育委員会／〒286-8585 花崎町760番地 ☎22-1111大代表



こんなにたくさん拾ったよ

わたしたちの住む久住は自然に恵まれています。また、駅に近いところでは新しい家が建ちはじめ、新しいまちもできつつあります。久住第一小学校も転入生や入学してくる1年生の数も多くなっ

久住グリーン大作戦

今回は、豆記者のみなさんに「ここが大好き！成田」というテーマで記事を書いてもらいました。昨年、成田市は市制施行50周年を迎え、あらためて郷土のすばらしさを認識する年となりました。豆記者のみなさんの成田への想いをメッセージに託してもらいました。

「ここが大好き！成田」

学校発

わたしたちのメッセージ

だいす

なりた

てきて活気にあふれています。わたしたち「久一子」はそんな久住を誇りに思います。「我が故郷久住をより美しく」ということで久住中、久住第二小、久住第一小とで「久住グリーン大作戦」を実施しました。最初のうちは、あまりゴミを拾えなかったのですが、中学生はさすがに上手でわたしたちよりたくさんゴミを集めていました。わたしたちも負けずにがんばり、最後にはたくさんゴミを集め、自分の地域をきれいにすることができました。楽しかったのは、普段同じ敷地内にも接することの少ない中学生と一緒に掃除をしたことです。これからも大好きな久住をより美しくするためにがんばっていききたいと思います。

久住第一小 神崎 陽

成田のまちはチャーミング

わたしは、住んでいるニュータウンにはない、昔ながらの小さな商店が並ぶ表参道に強く引かれます。中でも創業53年の甘太郎の店や大正元年から営業しているせんべい屋は、おいしいことはもちろん、人々の心の温かさや優しさも感じられます。また、空港が近くにあることで、成田山に来る外国人が多く、表参道で交流もできるのです。先日、外国の人に成田についての感想を、勇気を出して尋ねたところ、笑顔で「チャーミング」と答えてくれました。このように昔ながらのまち並みの中で、ちよっぴり異国情緒を味

わたる表参道の雰囲気、わたしは大好きです。

西中 山田 葉々子

古墳のある風景

ぼくの住んでいる成田ニュータウンには、県の指定文化財となっている40基の古墳があります。幼稚園のころに遊んだ赤坂公園の小山が、実は珍しい前方後方墳だったり、小さきままな古墳原古墳群が、ぼくの家から近い住宅街や小学校の中にあるということ、すべて最近知りました。社会科で勉強した遠い世界が、すぐ目の前にある不思議に、ぼくは本当



参道には老舗がいろいろ



ここには王や豪族が眠っているのかな

に驚かされました。

ぼくが生まれるずっと前のここには、渡来人が行き来し、王や豪族がたくさん住んでいたのかも：とワクワクさせてくれる古墳のある風景が大好きです。

中台小 田中 雄太

惣五郎はまちの誇り

「バーン、バーン、バーン」9月4日の朝、花火が鳴った。御待夜を知らせる合図だ。御待夜祭は、わたしたちの小学校区にある宗吾堂のお祭りだ。

江戸時代に公津村の名主の木内惣五郎という人がいた。惣五郎は、村人が年貢米を納めることに、より、食べ物に不自由し苦しんでいる姿を見て、將軍に直接訴えま

した。惣五郎の命と引き換えの直訴により、村人は年貢を納めずに済み、明るさを取り戻していきました。

わたしたちの先祖は、惣五郎を偲び、お堂を建てて供養し、惣五郎を語り継いでいます。

わたしは、惣五郎の勇気を尊敬します。惣五郎は、わたしたちのまちの誇りです。

公津小 辰巳 萌愛



御待夜祭で

ぎんなん拾い ボランティア

八生小には、樹齢500年といわれる大イチョウがあります。ぼくは校舎の窓から見える大イチョウのある風景が大好きです。



大イチョウの下でみんなとぎんなん拾い

秋のころには、ぎんなんが数え切れないほど落ちてきます。ぎんなんを拾うのは、朝のボランティア活動の時の掃除の時間です。ぼくも朝のボランティアに参加します。初めて参加した時は、ぎんなんの臭いがひどくて途中でいやになりました。

しかし、毎年、このぎんなんの収穫をもとに、餅米と交換し、餅つきを行います。今年も、創立記念式の時にお餅を食べることができるので、特に楽しみです。先生もぎんなん拾いをした後に食べるお餅はおいしく感じるといっているの、これからもがんばろうと思います。

八生小 内田 元氣

ぼくの好きな 参道のまち並み



なおにつられちょっと寄り道

成田山新勝寺参道。昔ながらのまち並みが残るぼくの大好きな場所です。

参道を歩いていると、いろいろなにおいがしてきます。せんべいを焼く香はしいにおい。食欲をそそるうなぎを焼くにおい。その中から聞こえてくる元気のいいお店の人たちの声。昔から今まで変わらない生活がそこにあります。

そして、この通りが一番活気つくのは、祇園祭です。仲町の坂を威勢のいい大人の人たちと一緒に山車を引くのは最高です。成田に住んでいても、意外に歩くことのない人がたくさんいるのでは。ぜひ一度、参道をゆっくり歩いてみてください。

成田小 武藤 瑞樹

地域をつなぐ 七夕祭り



七夕祭りをわたしたちの手で続けていくぞ

わたしの住む土室地区では、毎年8月7日に七夕祭りがあります。午前4時ごろ、短冊や飾りをつけた竹と太い綱を持ち、「おりやおせ、おりやおせ、明日はねえぞ」と言いながら家々をまわります。「今日はあつても明日はないかもしれない。今日を大切にしよう」という意味だといわれています。みんなで掛け声を合わせて、一つの行事をやり遂げるのが楽しいです。地域の人々と子どもたちのつながりも深まっています。

昔からの行事をこれからもわたしたちの手で続けていきたいと思っています。

久住第二小 畠中 愛香

夏の楽しみ

毎年、夏休みに入ると神宮寺小学校の校庭で「神宮寺祭」が行われます。

このお祭りでは、神宮寺地区の自治会や地域の人々がかき氷や焼きそばなどのお店を出し合っています。

そして、学校の校庭にやぐらを組み、神宮寺音頭やいろいろな盆踊りが行われます。踊りはお祭りが始まる前に神宮寺小学校の体育



地域のひとと一緒に

館に地域の人たちが来て、丁寧に教えてくれます。

わたしは、地域の大人も子どもも一緒にこの地区のお祭りが大好きです。

神宮寺小 田中 優子

新旧の顔をもつまち

成田山新勝寺では一年を通してお祭りなどの行事が季節ごとに行われます。写真に撮った祇園祭は、夏の代表的な行事の一つです。町内こ

に山車を引き、活気のある掛け声やお囃子の音色は梅雨の重い空気を払いのけてしまいうまくないで、熱気が参道に充満しています。

こうした歴史的な行事とは対照的に成田空港など発展した場所も



熱気あふれる祇園祭

あります。わたしたちの生活はより一層便利になってきています。一つのまちに、新旧の顔をもち、それらを身近に感じられる成田が故郷であることはうれしくもあり将来が楽しみです。

成田高校付属中 齊藤 雅代

サービスがたくさん

多くの住むニュータウン地区には医療・福祉の拠点として造られた「保健福祉館」という施設があ



館内では赤ちゃんの検診も

ります。ここでは、健康診断や在宅介護、ボランティアに関する相談などを行っています。

保健福祉館を利用している人たちに、この施設について聞いてみると、「急病診療所があり、今後、利用する人が更に増えるのではないか。」などと期待を寄せる声もありました。

この施設も含め、市内には満足できるサービスがたくさんあります。ぼくは、そんな住みよい成田市が大好きです。

中台中 鈴木 良広

世界へ通じる成田空港

わたしは、5年生の時に遠山小に転校してきました。前の学校で

も成田空港のことを教わってはいましたが、実際ののくらい大きいのか、外国の人はどのくらいいるのか分かりませんでした。

この疑問は成田空港の学習で解決することができました。でも「こんなに近くにあるのに何も知らなかったのだな」と思いました。

空港は騒音など困ることもありますが。しかし、逆に空港がないと困る人もいと思います。「良い解決方法があるといいな」と思いました。

また、学校では英語の勉強もしているのに、学習した英語を生かして成田空港から世界へ行ってみたいと思っています。

遠山小 高藤 沙織



ここ成田から世界へ

ふるあたら 古くて新しいまち

成田は成田山を中心にした古いまち
並みがあり、少くもタイムスリ
ップした感じになります。また、
空港があることで、参道を歩いて
いる外国の人も多く、英語にふれ
あうチャンスがたくさんあります。
わたしが参加しているミーツ・
ザ・ワールドという活動は、英語
を使いゲームやハロウィーンパ
ーティーなどを行います。さまさま
な活動を通して、外国の人とふれ
あい、新しい発見をすることがで
きます。



かそう
仮装もバッチリ！

えがお 笑顔が絶えないまち

わたしは、いろいろな国の人と
親しくなり、成田のことを教えた
いと思っています。古くて新しい、た
くさんのふれあいがある、そんな
成田が大好きです。

新山小 伊藤 由佳

わたしは、成田の祇園祭がとて
も好きです。地域の人たちの顔が
とても楽しそうだからです。しか
し、この行事がいつまで続くのか
心配です。

わたしは、職場体験で保育園に
行きました。そ

して、子どもた
ちと一緒に遊ん
だりしました。

子どもたちはと
ても楽しそうに
笑っていました。
この子ども
たちがこれから
の祇園祭、成田
市を支えていく
のだなと実感し
ました。

わたしは、こ
の笑顔が絶えな
い



みんなでこれからの成田を

いような暮らしやすい成田市に
したいです。

遠山中 並木 沙弥子

しぜん 自然がいっぱい

ぼくが通っている橋賀台小学校
の近くに「江川」という川があり
ます。1年生のころ、お母さんと
ザリガニ釣りに行ったことがきつ



まがわ
江川はぼくのお気に入りの場所

かけて、この川によく遊びに行く
ようになりました。
江川には、小魚、かえる、川え
びなどがいます。季節によって川
で見つけることができる生き物が
違うので、ぼくのお気に入りの場
所です。しかし、生き物は自然の
中が一番なので、遊んだあとは、
川に逃がしています。

「江川」のように自然に親しむ
ことのできる場所のある成田がば
くは大好きです。

橋賀台小 渡邊 拓

かつき 活気あふれるまち

成田といえば、わたしはまず成
田山が浮かびます。大勢の参拝客
でにぎわう成田山を見たときは、
その大きさ、人の多さなどすべて
に圧倒されてしまいました。成田
山を中心とした門前町として栄え
てきた成田のまちは、今でも大勢
の観光客が訪れます。成田山があ
ったから、成田は昔から栄えてい
るのです。わたしは、成田山があ
るから、たくさんの外国人の人とふ
れあう機会もあり、国際的なまち
として発展しているのだと思いま
す。また、そのおかげで、成田は

いつも活気にあふれています。
わたしは、伝統のある成田に住
めることがとてもうれしいです。
そして、これからも、この素敵な
成田がどんどん発展していけばい
いと思います。

成田中 船井 夏葉子



参道ではしゅちゅうこんな光景が

あとがき

豆記者のみなさんの力強
い記事から、これからも成
田の歴史と伝統文化を支
え、ますます発展させてい
こうという気持ちが伝わっ
てきました。
次代を担うみなさんの今
後の活躍を期待したいと思
います。